

令和 7 年度 第 9 回中郷区地域協議会次第

日 時:令和 7 年 12 月 15 日(月)18 時~
場 所:中郷コミュニティプラザ ホール

1 開 会

2 報 告

3 協 議

- (1) 新たな自主的審議事項「い～住プロジェクト」について
 - ・まちづくりワークショップ（上越市創造行政研究所）

- (2) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
 - ・中郷コミュニティバス「さくら号」の運行状況（資料No.1 事前配布済）
 - ・「子どもの い～場所開設事業」の進捗（資料No.2 事前配布済）

4 その他の事項

5 閉 会

ヤングチーム

陸川副会長 岡田委員 尾崎委員
桐山委員 松岡委員 村越委員



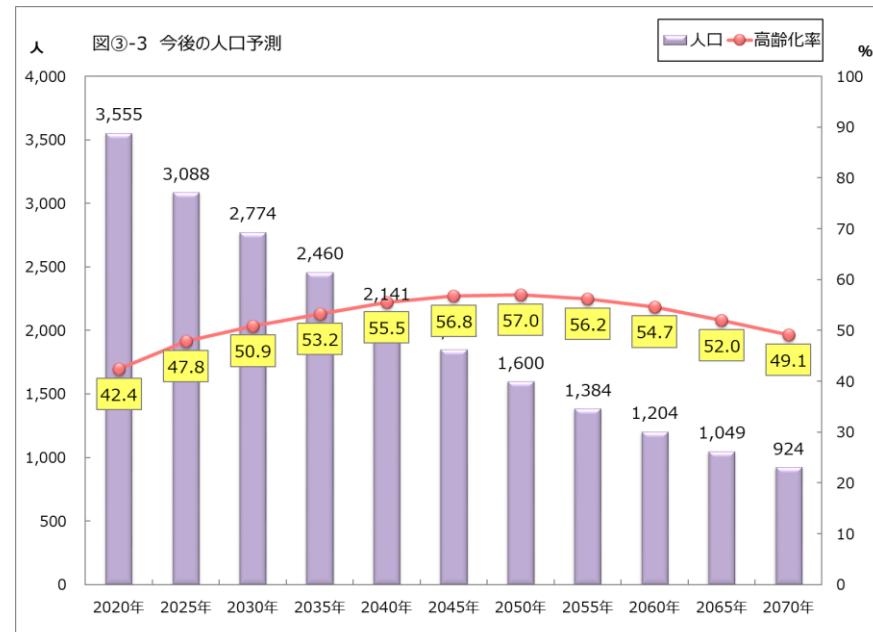
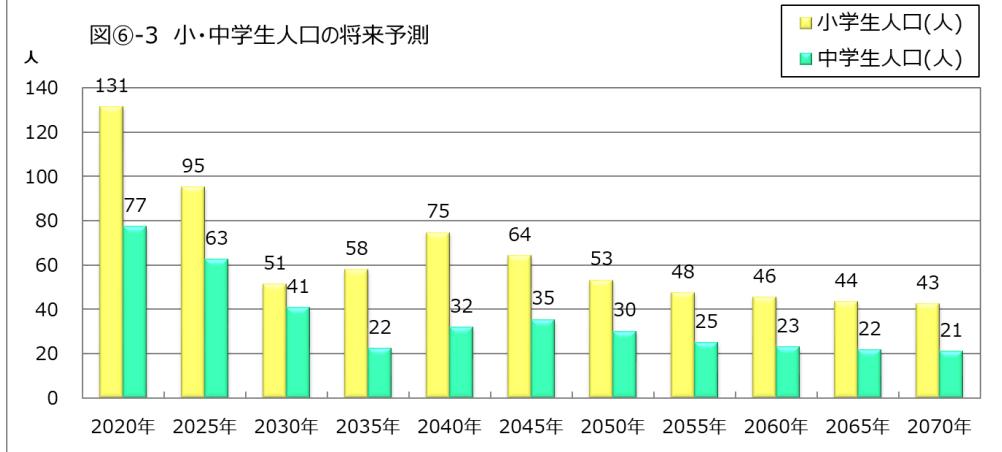
20代～30代前半で人口流出超過となる背景について

- ・若者が働きたいと思える職種の**就職先**があまりない。
- ・**コミュニケーションの場が不足**している。都市部でみられるような「仕事終わりに軽く一杯」などができる飲食店が少ない。飲み会後の移動手段が不便。
- ・家を建てる際、土地は安いが**雪対策にお金がかかり**、旧新井市や合併前上越市などの市街地と比較しても優位とはいえない。

定住増加の目標値

- ・30代前半夫婦+子ども世帯
- ・20代前半男女世帯
- ・60代前半夫婦(定年退職者)世帯

2世帯
1世帯
1世帯



目標達成に向けた重点取組

- ・特色のある教育の実現(例:小中学校の統合、金銭面の援助)
- ・就職先の確保
- ・趣味に打ち込める環境の整備
- ・空き家の活用



ベテランチーム

竹内会長 鹿島委員 高橋委員
竹内委員 陸川委員

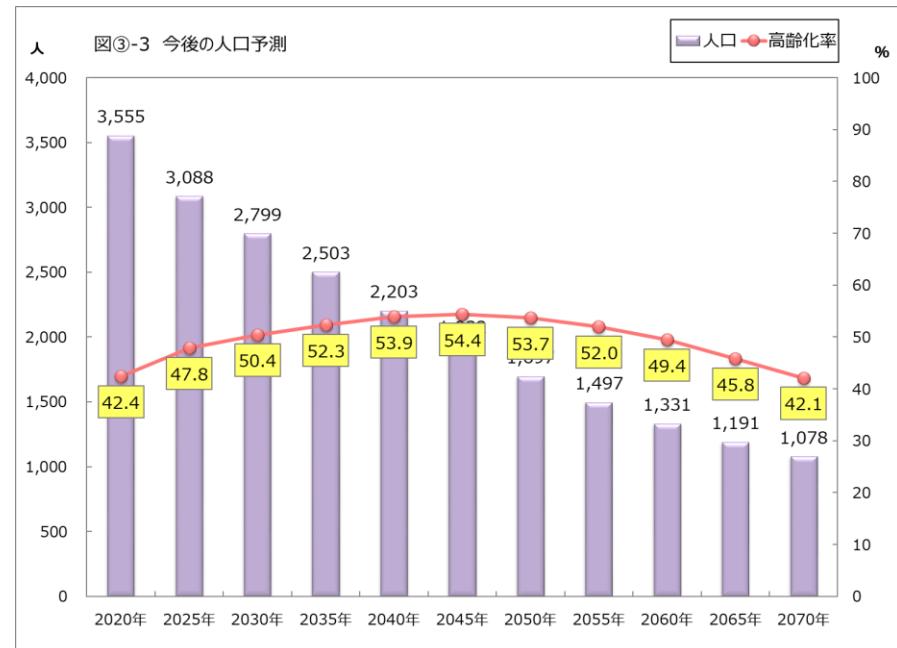
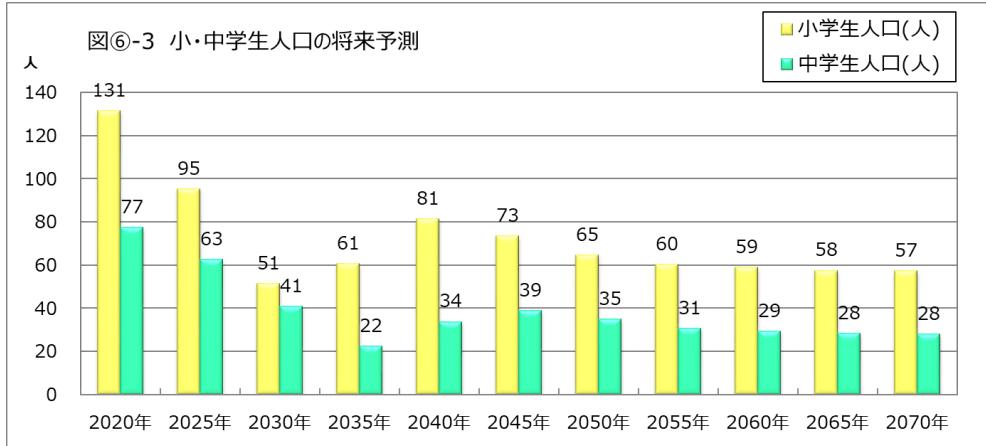
20代～30代前半で人口流出超過となる背景について

- ・20代は**進学**を機に区外(市外・県外)へ転出。自分が望む**就職先**がないため、中郷区には戻ってこない。
- ・30代は**結婚**を機に中郷区から**雪の少ない**旧新井市や合併前上越市へ出てしまう。

定住増加の目標値

- ・30代前半夫婦+子ども世帯
- ・20代前半男女世帯
- ・60代前半夫婦(定年退職者)世帯

2世帯
3世帯
1世帯



目標達成に向けた重点取組

- ・自然豊かな環境で子育てできることをPRする
- ・就職先、交通、雪対策の情報を発信
- ・農業の担い手(30代)の呼び込み

総合事務所チーム



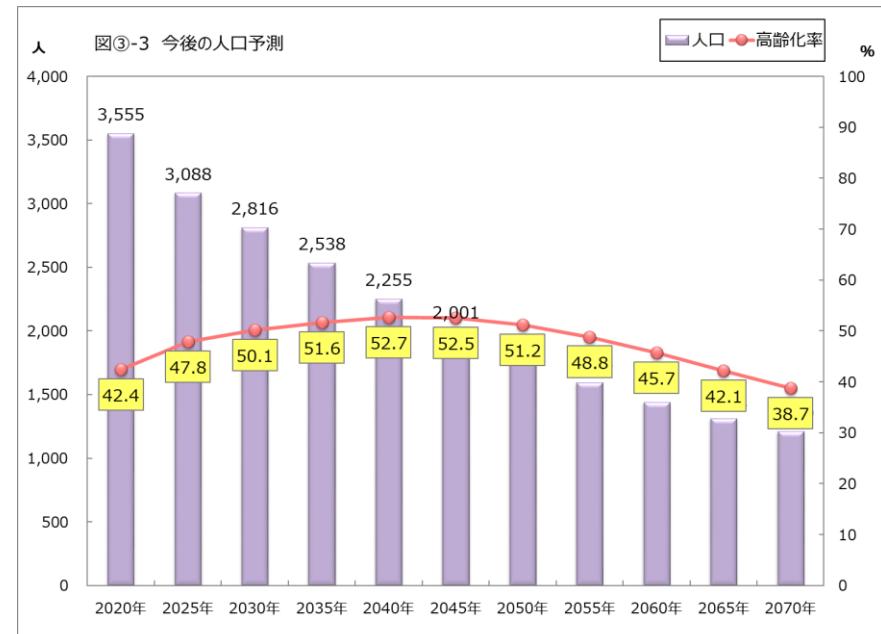
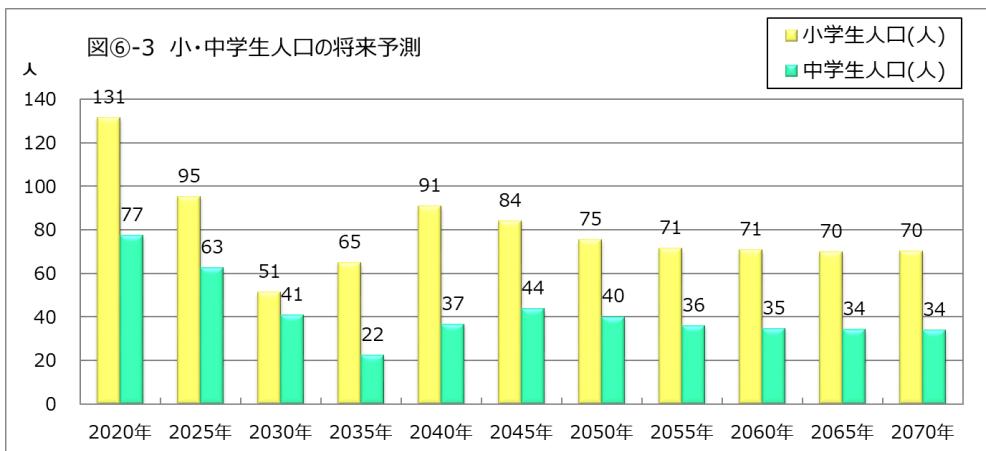
20代～30代前半で人口流出超過となる背景について

- ・進学で区外（市外）に出た後、**進学先の地域での就職や結婚等を機に住民票を異動する。**
- ・**結婚を機に2人の世界をつくるため安価なアパート等を求めて、旧新井市や合併前上越市に引っ越す。**その後、子育て等に困っても実家が近く助けを得やすいため、中郷区に戻る必要がなくなる。
- ・**子どもが小学生になるタイミング**で共働きをするため、職場に通いやすい場所へ引っ越す。

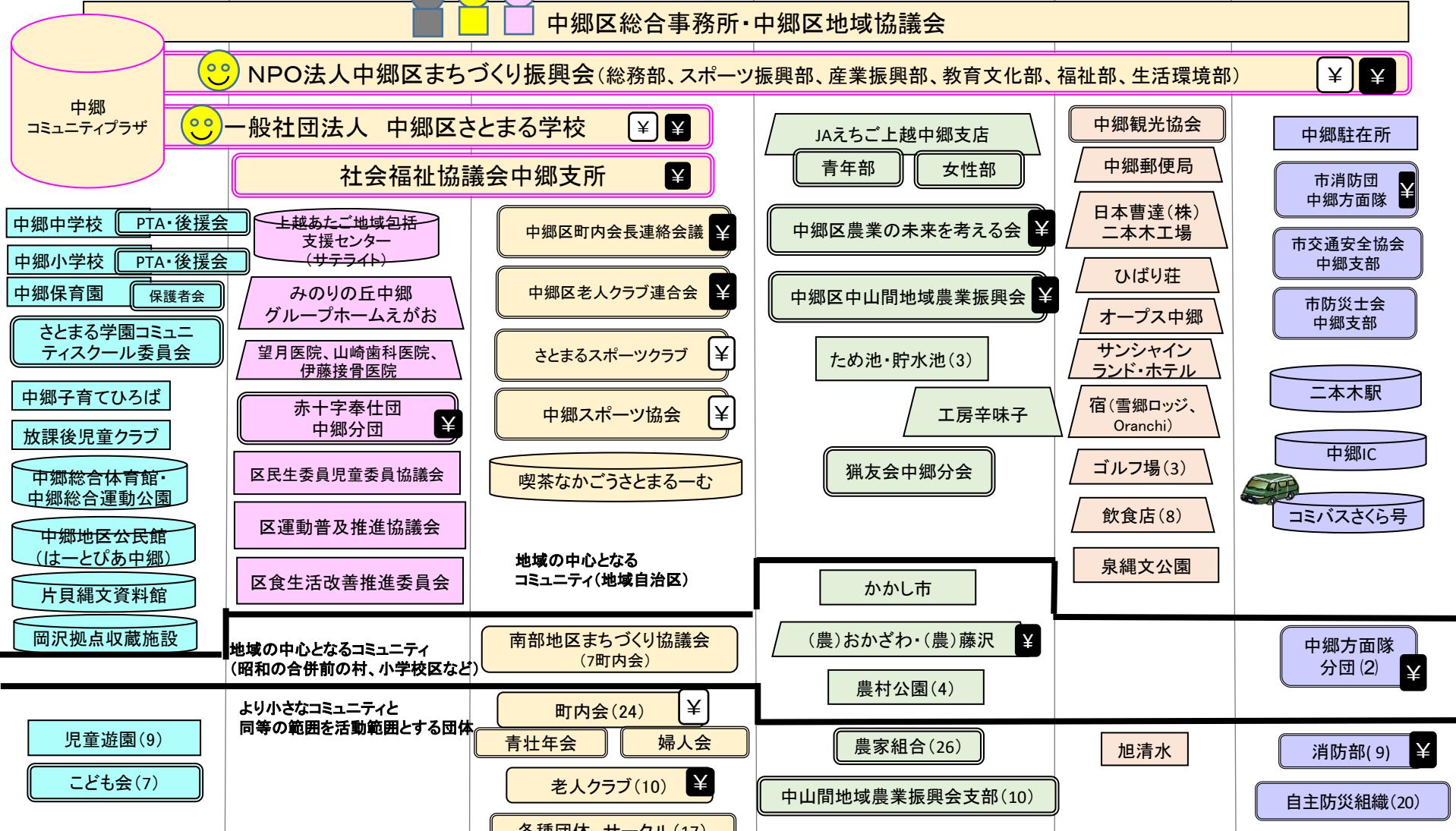
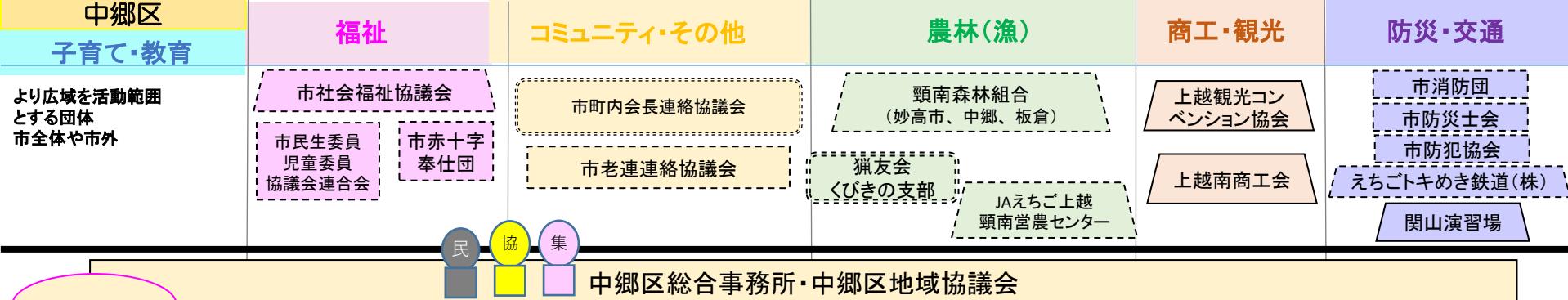
定住増加の目標値

- ・30代前半夫婦+子ども世帯
- ・20代前半男女世帯
- ・60代前半夫婦（定年退職者）世帯

3世帯
3世帯
1世帯



目標達成に向けた重点取組



①まず、天気図マークを各自おく

②簡単に理由をふせんに書く、話す

③拠点となる施設や場所、団体をおく

強み

高

新しい風



弱み

低

連携良

連携課題

水色
ふせんに
理由

桃色
ふせんに
理由

子育て
支援

若いお母さん
集い場

30代女性
集い場

定住の
窓口

働く
場所

発表のしかた ~「地元天気図」現状課題編~

＜4分＞ ①～③は主なもの3つ

- ① 一番の強み(高気圧)と弱み(低気圧)
- ② 台風(新しい風を吹かす)
- ③ 温暖前線(連携良)と寒冷前線(連携不足)
- ④ 中郷区の気圧配置を一言で言うと…

中郷コミュニティバス「さくら号」運行状況

R7.11.30現在 回数券購入の実人数50人(前月末+1)

資料No.1
中郷区地域協議会
R7.12.15

販 売 数 券	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
	販売数	55	17	6	15	15	9	11	146 冊
	金額	165,000	51,000	18,000	45,000	45,000	27,000	33,000	54,000

利 用 件 数	回数券	105	123	114	153	134	121	135	114	999 件
	現金	10	4	2	6	6	4	4	0	36 件
	件数計	115	127	116	159	140	125	139	114	1035 件
	料金計	36,500	38,900	35,200	48,900	43,200	38,300	42,500	34,200	317,700 円

曜 日 別 利 用 件 数	区内	妙高市											
	月	0	6	2	9	2	11	0	8	0	11	0	2
	火	6	43	7	35	16	30	4	51	8	45	8	37
	水	0	16	1	8	1	12	0	18	0	14	0	6
	木	7	26	5	45	5	31	4	58	9	34	6	58
	金	0	11	0	15	2	6	0	16	2	13	0	8
	土日												
	計	13	102	15	112	26	90	8	151	23	117	14	111
合計	115		127		116		159		140		125		139

月曜日：南・西地区新井病院便／北地区区内巡回便

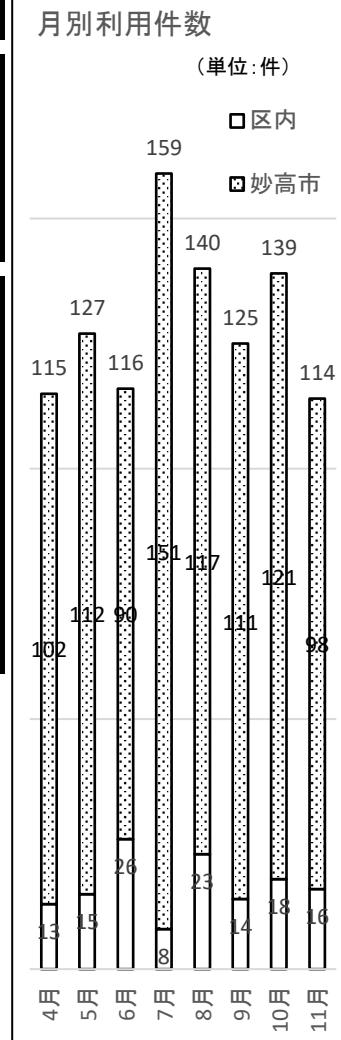
火曜日：中・東・北地区新井病院便／東・南地区区内巡回便

水曜日：南・西地区新井買い物便／中地区区内巡回便

木曜日：中・東・北地区新井買い物便／西地区区内巡回便

金曜日：中・東・南・西地区関山便

- 東地区(坂本・二本木・松崎・五反田)
- 西地区(岡川・岡沢・福田)
- 南地区(市屋・片貝・福崎・江口・稻荷山・宮野原・松ヶ峯)
- 北地区(板橋・藤沢・三ツ屋)
- 中地区(江端・金山・四ツ屋・下中嶋・八斗蒔・さくらハイツ・野林)



令和7年度 第3回中郷区子どものい～場所開設事業 実施報告

資料No.2

中郷区地域協議会

R7.12.15

- ・開設日：令和7年11月17日（月）
- ・開設時間：午後3時5分～午後5時30分
- ・開設場所：中郷総合体育館
- ・送迎者運転員：2人
- ・見守り者：8人（まちづくり振興会3人、総合事務所3人、地域協議会委員2人）
- ・参加者：35人（中学生の参加者なし）

	日付・会場	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
1	9月25日（木） 片貝縄文資料館	6	6	3	0	7	2	24
2	10月27日（月） 中郷コミュニティプラザ	6	7	5	0	6	3	27
3	11月17日（月） 中郷総合体育館	7	6	8	1	8	5	35

【参加申込について】

- ・当初11月11日（火）開催であったが、小学校が給食前下校に変更になったことにより開催日を変更した。
 - ・開催日の変更及び申込み案内については、学校メール配信システム、子どもたちへの文書配布、総合事務所だよりによって周知した。
 - ・11月7日（金）時点で、11日（火）での申込みがあったが、17日（月）での申込みがなかった7名について、小学校を通じ個別に文書を配布した。
- まちづくり振興会と市が連携し、スムーズに変更手続きを行うことができた（日程変更に関する問合せや開催日の間違い、申込み忘れ等はなかった）。

【送迎について】

- ・学校→会場までは2台で2往復した（リース車両1台+コミバス1台）。
 - ・学校から出る際に、学校職員が上履き必要な児童は持っていくように促してくれた。
 - ・会場→自宅までは1便を5時10分、2便を5時40分に出発した。
 - ・1便目の帰りが待ちきれなくなった児童がいたため、まちづくり振興会の軽自動車で3人を送り届けた（送りが3回となった）。
- 参加人数が36名以上となる場合は、学校→会場まで2台2往復で間に合わなくなるため、まちづくり振興会所有の軽自動車を送迎に使用する。
- 会場→自宅まで「送りあり」で申込んだ保護者への文書に帰り時間の目安となる文言を追加する（「自宅への到着時間の目安は午後5時15分～6時です」など）。

【見守りの状況・子どもたちの様子について】

- ・スタンプカードを忘れてくる児童が多かった。
 - ・かくれんぼ、ボール遊び、鬼ごっこなどで遊ぶ様子が見られた。
 - ・参加人数が多く、ホール、ミーティング室、2階など活動場所も複数であったため、適宜人数の確認を行った。
 - ・迎えに来た保護者も見守りに参加した。
 - ・けが人が3名（ドアにはさんだ：1名、足をすりむいた：1名、水ぶくれがやぶれた：1名）→いずれも軽症。カットバンで対応した（保護者へ連絡済）。
- 今後も30名以上の参加が見込まれることから、見守り者を1名追加する（まちづくり振興会で対応済）。